

足羽川ダム事業の現状について お知らせします

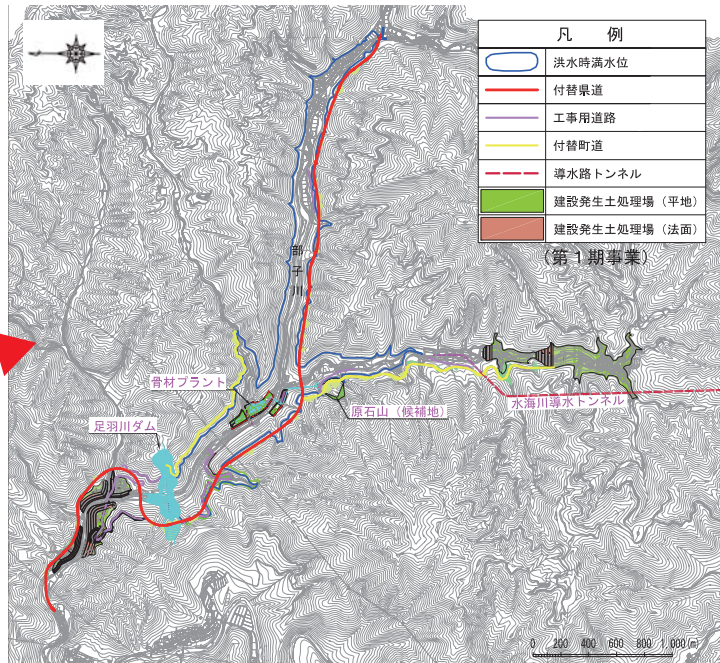
1

足羽川ダム工事計画概要(案)について

ダム事業に伴う仮設備及び工事用道路、付替道路、建設発生土処理場の工事計画概要(案)が国、福井県、池田町の三者で確認されました。現在、この案を基本として、環境アセスメントの準備書の作成に向けて検討を進めるとともに、地元並びに関係機関との調整を進めています。



位置図



足羽川ダム工事計画概要(案)平面図

2

環境影響評価(環境アセスメント)の手続きを進めています。

足羽川ダム建設事業における環境影響評価(環境アセスメント)については、平成20年8月1日に決定した「環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法」に基づき、現在、「準備書(アセスメントの結果の案)」の作成に向けた検討を行っています。

環境影響評価の検討項目のうち、検討が進んだ項目から「足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会」等に諮り、意見・助言を頂いています。11月11日には、陸域に生息・生育する動植物について、12月3日には、「大気環境、地形・地質、景観、廃棄物等、動植物(陸域)」の予測・保全措置の検討内容等について、意見・助言を頂きました。

今後も引き続き、意見・助言を頂きながら、準備書の作成を行っていきます。



3

福井豪雨の映像・画像を公開しています。

～「福井豪雨映像アーカイブス」足羽川編・嶺北編・学術編・ダイジェスト編～

平成16年7月の福井豪雨時に起こった事象に関する記録の散逸、埋没を防止し、これらの映像・画像を今後の防災に対する啓発・教育・施策に役立てるため、「福井豪雨映像アーカイブス」を作成しました。映像や画像は、行政関係を除く40個人・団体から提供を頂き、全体で動画約40時間、静止画約5万枚もの映像・画像が集まりました。ご協力ありがとうございました。

去る10月5日に福井市防災センターで開催された「ふくい河川防災フォーラム2008」において「福井豪雨映像アーカイブス作成委員会」委員長の福原輝幸福井大学大学院教授より完成報告が行なわれました。

皆様からご提供頂いた映像・画像を編集した映像資料は、事務局の国土交通省福井河川国道事務所のホームページ等 (<http://www.fukui.kkr.mlit.go.jp>) でご覧頂くことが出来ます。



(写真提供：福井豪雨アーカイブス作成委員会)

地質調査を実施しています。

ダム事業における地質調査の方法には、地表地質概査・ボーリング調査・弾性波探査・試掘横坑調査などがあります。

▶弾性波探査とは

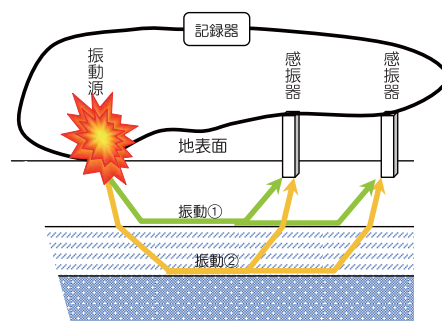
弾性波探査は人工的に地盤を振動させ振動の伝わり具合から地下の地質を調査する方法です。地下の地盤状況（地質、断層、岩盤の風化程度など）を把握することができます。



感振器



記録器



【共同発行人】

国土交通省近畿地方整備局
足羽川ダム工事事務所

〒918-8239 福井市成和1-2111 ポラリスビル
TEL(0776)27-0642(代)
FAX(0776)27-0643
<http://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/>

福井県土木部河川課
ダム建設・足羽川ダム対策室

〒910-8580 福井市大手3-17-1
TEL(0776)20-0486
FAX(0776)20-0696
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kasen/>

福井市建設部河川課

〒910-8511 福井市大手3-10-1
TEL(0776)20-5492
FAX(0776)20-5745
<http://www.city.fukui.lg.jp/d380/kasen/>

ご意見、ご感想、みなさんの声をお寄せ下さい。
なお、足羽川ダム計画は、次の国と県のホームページでもご紹介しています。